

川中音楽祭プログラム

| | |
|------|--|
| 8:45 | 【開会式】 ①開会宣言 ②生徒会長の話 ③校長先生の話 ④諸注意 |
| 9:00 | 全校合唱「校歌」 指揮：乙成 花音 伴奏：尾関 恋羽 |
| 1-A | 変わらないもの 指揮：瀬下 倅帆 伴奏：苅谷 柚璃 私たち1年A組は、学級目標「一心」の達成に向けて合唱を高めてきました。日常では、ロッカー整頓やあいさつをそろえることを通して、全員で心をついにしようと毎日取り組んできました。また、仲間からのアドバイスをもとに、声を響かせることや、強弱表現、ブレスをそろえることを意識して歌ってきました。「変わらないもの」という曲には、「あなた」という歌詞がたくさんあります。「仲間のことを思い、自分も頑張りたい」という決意をもち、私たちの合唱を通して、「心をついにすること」、「仲間を想うこと」の大切さを届けられるように全力で歌うので、歌詞もよく聴いてください。 |
| 1-B | 明日へ 指揮：高橋 柚輝 伴奏：柏木 優花 私たち1Bは、「心をついに、歌声をついに」という合唱の目標を立てて、合唱練習に取り組んできました。その中で、自分から進んで呼びかけをしてくれる仲間の姿がたくさんあって、合唱を大切にしている気持ちが伝わってきました。そして、練習を重ねて出来ていない部分を明確にして、みんなで歌声を一つにして歌えるようになりました。曲の中で、パート全体の声の大きさやブレスをみんなで意識して練習に取り組んできました。「明日へ」の歌詞は、未来への不安を抱えながらも、まだ見ぬ明日へ希望を持って歩いていこうとする力強い意志が表されています。私たち学級の心をついに、歌声をついにした合唱を聞いてください。 |
| 1-C | COSMOS 指揮：青井 汰樹 伴奏：伊藤 遙花 1Cの音楽祭の目標は、「全力楽笑」です。この目標には、学級目標の「全力疾走」と同じ、一つの目標に全員で真剣にやり切りたい、そして、楽しみながら、笑って終われる音楽祭にしたいという願いが込められています。1Cでは、日常から呼びかけなしで二分前着席が当たり前できるようにしたり、ロッカー整頓を意識して気持ちよく過ごせるようにしたりしてきました。 COSMOSは、最初の歌詞は話しかけているように歌うところ、三部合唱の重なりがとても美しい曲です。1Cの全力楽笑をぜひ聴いてください。 |
| 1-D | HEIWAの鐘 指揮：尾関 綜士郎 伴奏：菊地 晴希 1年D組の学級目標は「初志貫徹『全力』+『+の声かけ』x焔=笑顔」です。そこで音楽祭では、「焔(みんなの全力の歌声)を響かせ、聞いている人も1年D組も笑顔になれる合唱」を目指しています。しかし、仲間の声に応えられない反応の弱さが課題でした。そこで、日常から呼びかけに応える姿を増やしていくと、合唱練習の時にもその姿が表れてきました。そして、学級の「HEIWAの鐘に対する思い」も変わりました。みんなの全力の歌声を響かせ、皆さんを笑顔にしてみせます。 |
| 1年生 | 地球の鼓動 指揮：大島 凜 伴奏：伊藤 遙花 1年生は「全員が全力でひとつの合唱をつくりあげる」を目標にして練習してきました。班別研修では、呼びかける仲間に応えることが弱かったです。呼びかける仲間に応えることは、目標の「全員」の部分につながります。そこで、呼びかけに応える姿を増やして日常生活を向上させるために学年でキャンペーンをしました。その結果、無言清掃の姿が高まりました。全員が指揮者に注目して歌っているところ、出だしの迫力のある声に注目して聞いてください。 |
| 9:45 | 休憩(15分間) |
| 2-A | 時を越えて 指揮：川瀬 雅弥 伴奏：三島 瑤世 私たち2Aは、「精一杯」を合言葉に歩んできました。これまで精一杯やってきたからこそ、不安・悔しさが出ることもありました。それでも、ここまで歩むことができたのは、その不安や悔しさを共有し、仲間と共に顔晴ってきたからです。『時を越えて』の歌詞に「あの日の喜びとあの日の悔しさを」とあります。ここは、特に大切に歌ってきました。これまでの2Aでの歩みを思い返ししながら、「精一杯」の力を出して歌います。私達の姿を通して、少しでも明日からがんばろうと思ってもらえる嬉しいです。 |
| 2-C | 時を越えて 指揮：麻生 実咲 伴奏：米倉みらい 曲の中にある強弱や歌詞にある「時を越えて」を全員でそろえ、一人一人の本気を出し切り、聴く人を勇気づけるような迫力のある合唱を披露します。最初はまとまることになかった学級も、改善点を見つけ、共に直していくことで合唱の要となる「団結」が強まりました。また学級目標でもあり、合唱目標でもある「本気」。2Cの良さ強みである仲間に応えることが、より私達を成長させました。私達の合唱曲「時を越えて」の歌詞を聴いて、2Cの歩みを感じてもらえたら嬉しいです。 |
| 2-D | 自分らしく 指揮：東山 太珂 伴奏：古瀬結々奈 D組では学級目標「飛翔」に向け、一人一人が今の状態で満足せず、さらに上を目指そうと、全員が同じ目標に向かい、自分の出来ることに精一杯取り組んできました。自分で限界を決めず、今もレベルアップしようとして一人一人が積極的に行動をしています。このような姿と思いから、D組の一人一人が自分の出せる全力を出して歌います。『一唱懸命～全員で創り上げる合唱～』を聴いてください。 |
| 2-B | 虹色の未来 指揮：渡邊 翔太 伴奏：川瀬 結暉 2年B組では、「一所懸命～仲間と共に創る音楽祭～」という目標を掲げクラスで取り組んできました。その中で出た課題をクラス全員で話し合い、課題を改善するためにクラスで声を掛け合って歩んできました。クラス全員が空き時間や練習時間にこまめに練習したり、給食時間に曲を聞いたり、合唱委員の工夫で創り上げました。この合唱の注目ポイントは男声と女声、各パートの美しいハーモニーです。意見などが割れる中で、自分達らしい案を出し、みんなで創り上げてきた合唱に注目して聴いてください。 |

| | | |
|-------|-------------------------------------|--|
| 2年生 | 今を生きる 指揮：佐藤 心春 伴奏：川瀬 結暉 | 2Aでは仲間との助け合い、2Bでは仲間との関わりを大切にする事、2Cでは仲間の頑張りに応える事、2Dでは他人に頼らず自分から積極的に動く事を頑張ってきました。そして、体育祭や選挙活動で仲間が頑張る姿を見て、「自分は何ができるか」を考えて行動し、体育祭では精一杯挑戦したり、選挙活動では仲間を支えたりして成長してきました。6年生ではひな壇に乗れずに卒業曲を歌い、中学1年生ではコロナの影響で学年合唱ができませんでした。中学校生活で学年合唱を全校へ披露する事は、今日が初めてです。学年合唱曲の「今を生きる」を通して、2年生一人一人の見えない努力と成長を表したいと思います。歌った後に顔が晴れる2年生を目指して歌います。心で聴いてください |
| 10:45 | 休憩（15分間） | |
| 3-A | 春に 指揮：吉岡賢乃助 伴奏：熊澤 紅葉 | 3Aは、「恥を捨てろ～永遠の合唱～」を目標に、日常生活と合唱練習をつなげることを大切にしてきました。例えば、「3分前着席」によって合唱練習の移動や切りかえに活かしました。また、毎日その日の合唱のふり返りをクラス全員で交代で行い、一人一人の思いも伝え合いました。私たちが歌う「春に」は、自分の中に芽生えた未知の気持ちを、「強弱」と「速さ」を意識することで表現して歌います。聞いてください。 |
| 3-B | 青い鳥 指揮：岡本 拓也 伴奏：小原 陽葵 | 3Bは、「全員がベストを尽くす音楽祭～最高学年の誇りを胸に～」に向けて、31人全員で取り組んできました。仲間の熱い思いに感化される時もあり、支えてくれる仲間がいたからこそ、ここまで成長する事が出来たと感じています。私たちが歌う「青い鳥」は新たな旅立ちを後押ししてくれるようなすばらしい合唱曲です。サビのフォルテッシモや、はじめの「La La～」のタイミングを合わせる努力は、きっと歌う中で実っているはずで。私たちが歌う「青い鳥」を聞いてください。 |
| 3-D | ヒカリ 指揮：岸 侑輝 伴奏：後藤 優奈 | 「圧巻・全身で曲の変化を表現しよう」という目標を掲げて、練習を重ねてきました。取組途中で学級閉鎖になり、練習ができない悔しさを味わいました。しかし、その状況でもZOOMで仲間と繋がり、思いを共有したり、それぞれが家で個人練習をしたりしました。1回でも多く歌おうと、昼休みはほとんど毎日練習しました。日常から挨拶や反応の声を出すことを意識して、合唱に繋げています。私たちが歌う「ヒカリ」は絶望から明るい希望に向かって力強く歌う曲です。音量や強弱の変化に注目して聴いてください。 |
| 3-C | 花は咲く 指揮：坂野愛玖奈 伴奏：岩井 優奈 | 「花は咲く」は、震災をきっかけに作られた曲なので、命あることに感謝の思いをこめて歌います。花が咲くイメージを表現するため最後のサビの強弱を重点的に意識しました。最初は、男女の声のバランスが合わず苦勞しましたが、仲間の良さに目を向けて認め合う活動や、アドバイスを楽譜に書き込む工夫を行いました。それらの活動を通じて、クラス全体が合唱に対し、誰かに頼るのではなく、一人一人が声を出そうという意識をもちはじめ今日まで3C全員で合唱をつくりあげてきました。 |
| 3年生 | あなたへ 指揮：原 彩奈 伴奏：後藤 優奈 | 「虹～それぞれの思いで、全ての人の心に輝きを持たせる～」という学年目標を掲げ、合唱練習はもちろん日常生活でも「思いを揃える」ことを大事にしてきました。全員の心を1つにするために、パートリーダーや合唱委員、学級委員が少ない練習時間を工夫して出来る事に取り組んでくれました。また、その姿に応えることで全員の心が1つになっていきました。悩んだり、諦めそうになった時、いつも側にいてくれたのは大切な仲間。「あなたへ」は、そんな仲間と未来へ向かう希望の歌です。1人1人が仲間へ、そして未来への思いを表現します。音楽祭が開催できる喜びを噛み締めながら、精一杯歌います。 |
| 全校 | だいじなものは 指揮：青井 天汰 伴奏：小原 陽葵 | 今まで3年間、全校で歌えなかった、第2の校歌「だいじなものは」。それが今、ようやく歌えるようになりました。川中の生徒として引き継いでいかなければならない伝統「だいじなものは」。いつか全校で一体となり、体育館中にその歌声を響かせたいと願っていました。指揮者や伴奏者、間奏者、そして全校生徒一人一人が、この曲を完成させるために一生懸命頑張った今までの歩みと、目には見えない想いを、この合唱を通して感じてほしいです。 |
| 11:55 | 【講評】 （長尾 崇）先生 | |
| 12:05 | 【閉会式】 ①合唱委員長の話 ②閉会宣言 | |
| 12:10 | ③諸注意 | |

☆時刻はおよその目安です。進行によって変更になる場合があります。あらかじめご承知おき下さい。